

メタトロンの靈言「危機の時代の光」 (2021年6月18日収録) 担当:石田昭 2021年8月29日

1 G7で中国批判を開始した裏にあること。政治家達は「最終的に中国とどう対決するか」の決断しないと政策を決められない、よって今は人権問題、コロナの出所を批判している。

2 日本はファジーな姿勢、経済問題と軍事問題が絡るので、刺激は危険と逃げている。共産主義の思想を一元管理して世界に輸出する動きがある。阻止側のリーダー(バイデン)が弱すぎる。

3 ワクチンを大量に接種して沈静化、という考え方は「非常に楽観的」だと我々は思う。中共は変異株を何種類も用意している。悪質宇宙人が持つ込む宇宙株もある。パラ後の5波は未定。

4 最終的には中国製ワクチンでないと効かないようにするのが「ワクチン外交」の本当の目的。中共の言うことを聞けば、「ワクチンが効く」(散布をしないというだけのこと)

5 中共は去年トランプを「分断主義者」と煽ったが、今は逆に「分断」「内政干渉」を使って、世界の攻撃を切る作戦。この中共のプロパガンダを乗り越えるのは簡単ではない。

6 中共は羊の軍団を崩壊させるのが狙い。タリバン復活、英国はバイデンの弱腰に激怒。一带一路を確保という見方の一方、ウイグルの地下活動が活発化?中国経済援助の泥沼に陥落の危険?もある。

7 世界の鍵を握る日本、日本がG7型の欧米価値感を取る、と決めること 北方領土は棚上げにしてでも(ロシアを取り込み)中国包囲網を築く。この二点で中国は滅びます。

8 中国は120年前アヘン戦争後に混乱期だった。日本が軍隊を派遣し、治安維持を国際社会から依頼された。今は同じ状況で、日本が頼れる国家なら、G7の一枚板は壊れない。

9 今の日本は社会主義的政策を取って、野党の存在意義がなくなっている。国家社会主義の体質を持つ「ある意味での中国化」を目指している。デジタル庁、ワクチンパスポートなど

10 本当に中国の一省になる方向性、(媚中幹事長は中共の日本省支配人に任命される気でいる。二階俊博の守護靈靈言「タカ派的に国を護ると見せる一方、中国と合併する場合の受け皿を準備する」)

11 米国もこのままでは、左翼が強い考え方になる。産業革命後のあり方の整理が必要。

12 「中国を通じて世界制覇を狙っている勢力」が宇宙はある。かれらが宇宙由来のウイルス(C国が狙う次なる生物兵器)を撒いて、中国に肩入れする可能性はある。メシア談和

13 今進行中の「緊急事態宣言」等という「日本の決断」は大きな問題がある。欧米もその方向だが、反対。右か左かでなく、全体主義による地獄化を止めることがHSの仕事。

14 今“裏宇宙の通路”が開き、そちらの干渉が来ているが、我々は絶対に勝つつもりでいる。

15 彼らに支配される「悪徳国家」が存在するのなら、同じ理想を持つ国家が協力して対処することは当たり前、戦後の常識(日本専守防衛主義)を潰すべきである。領土問題に関する「権利の上に眠る者は保護されない」。闇宇宙支援国家は革新的利益だと主張している。

16 中東情勢は脱炭素(環境を中心とした共産主義)問題の影響を受ける。イランは中共の庇護を期待、だが中共包囲網が進行すれば、考え方が変わる。主体的判断はもっていない。

17 親中公明党はあつという間の崩壊もある。宗教勢力が再結成して政治力を持つ機会が来る。仏教・キリスト教・神道は今世紀中に取り込める。出口王仁三郎の予言、主は美濃か尾張から。

18 我々は創世記の神々に当たる。地球人類の問題は科学万能主義になって、神を信じない「天狗になっている」こと。天狗の鼻を折る必要がある。救世主が出るときは危機の時代。

19 コロナも危機だが、次の危機が来る。神の声についてくれば危機から脱出できる。聞かなかつたら壊滅的なことが起きる。「踏み絵」を迫る、間違えれば多くの災いが来る。

20 ルーズベルトには悪質宇宙人が入っていた。日本を戦争に追い込んだ。今は中国に。

21 あとがき:愚かな人間を減らすという地球意識の念い。唯物論科学天狗の増殖を止めよ。